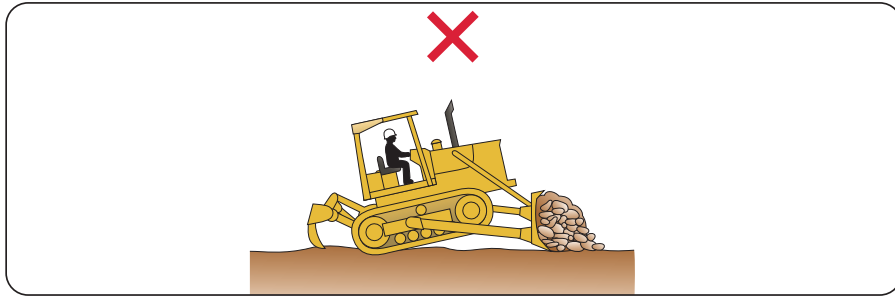
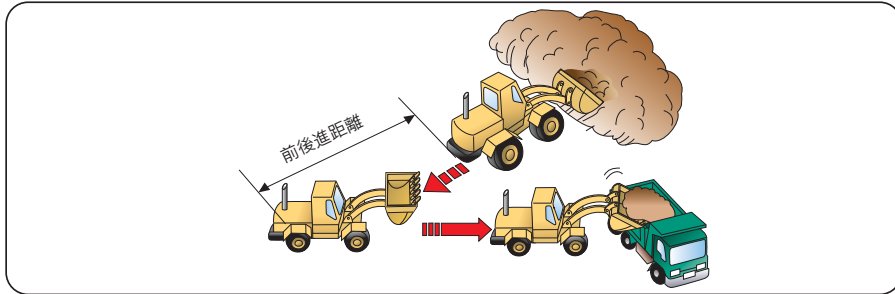


2 作業内容・方法の改善 ～振動発生源のソフト面での対策～

★ 重機の操作を丁寧に行う（無理な負荷をかけない）



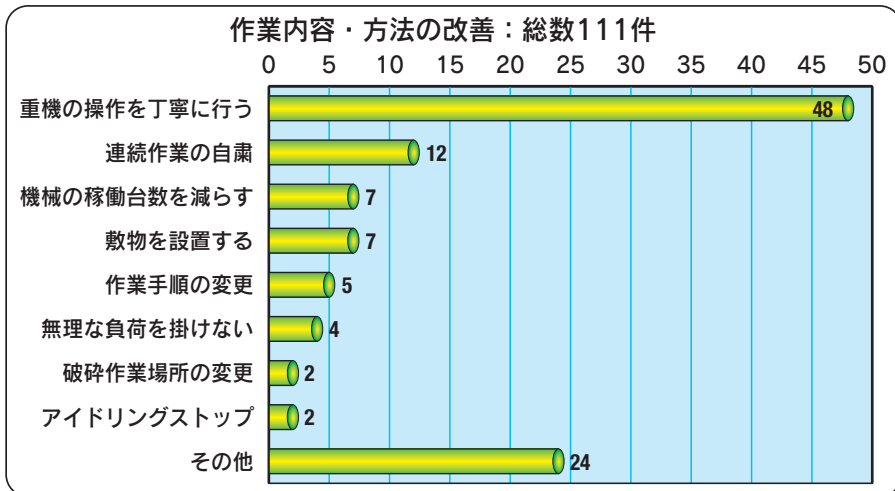
★ 重機の移動を最小限にする



★ 始業時の点検（機械の整備）を行う

★ 重機の台数を減らす

★ 連続作業を自粛する



※平成15年度に実施した振動苦情に関する自治体アンケート結果

★ 看板、ステッカー等により作業者の意識の改善に努める



これは実際に使用されているステッカーです

これらの改善は騒音や粉じんの対策にもつながります



3 作業時間の変更・短縮 ～振動発生源のソフト面での対策～

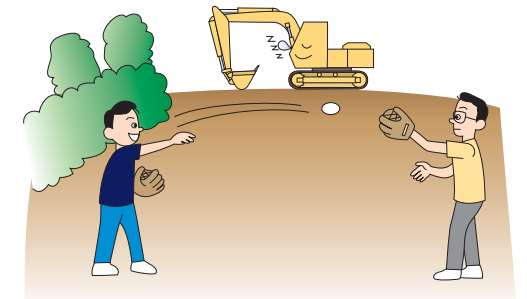
★ 開始時間を遅くする

★ 終了時間を早くする

★ 休憩時間を導入する

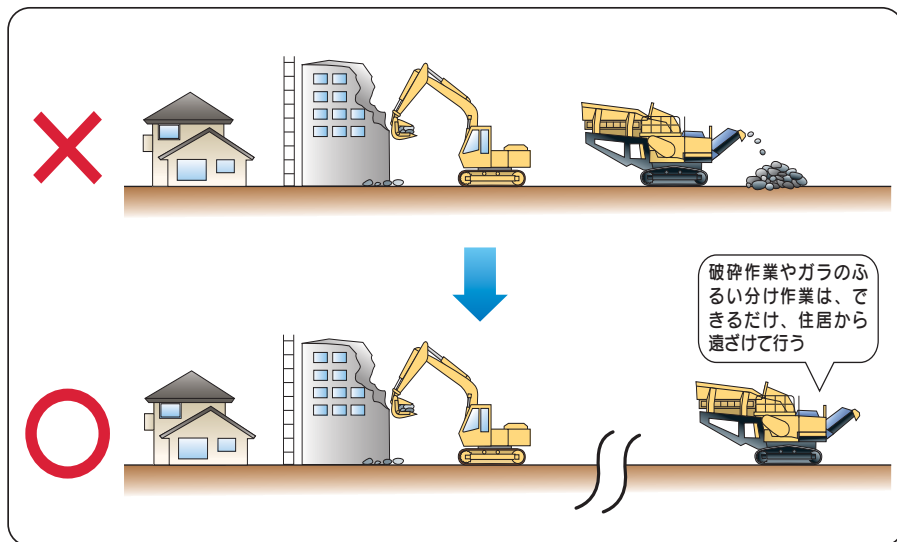
★ 作業時間の徹底（昼休み時間は作業をしない）

★ 日曜日その他の休日の作業を行わない

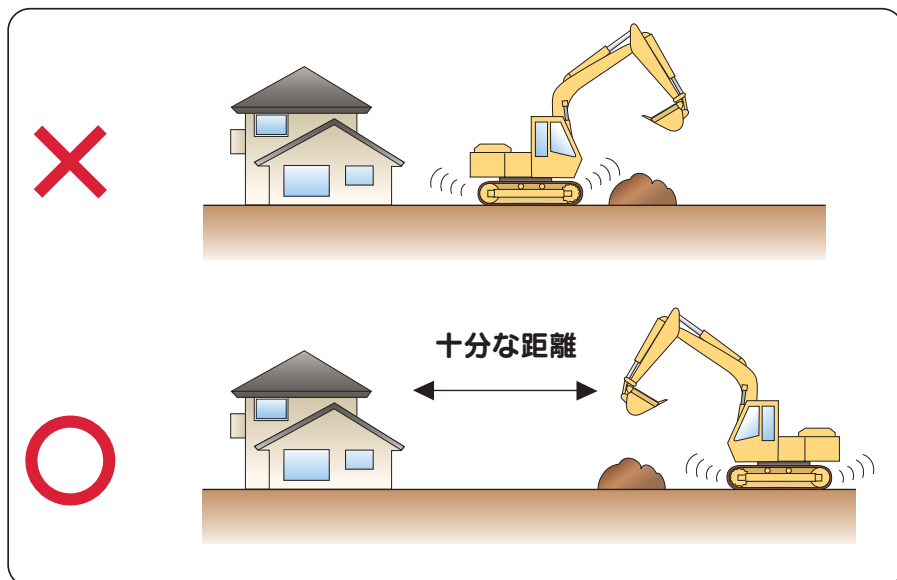


4 振動発生源の移動 ～伝搬経路のソフト面での対策～

★ 破碎作業場所を別の場所に移動する

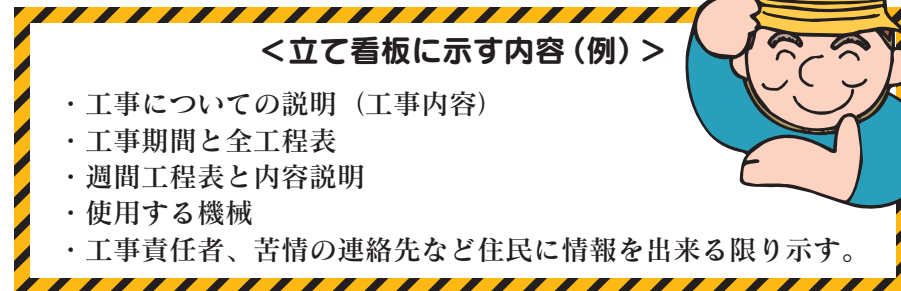


★ 発生源を遠ざける [距離減衰による方法]



5 住民対応 ～受振点のソフト面での対策～

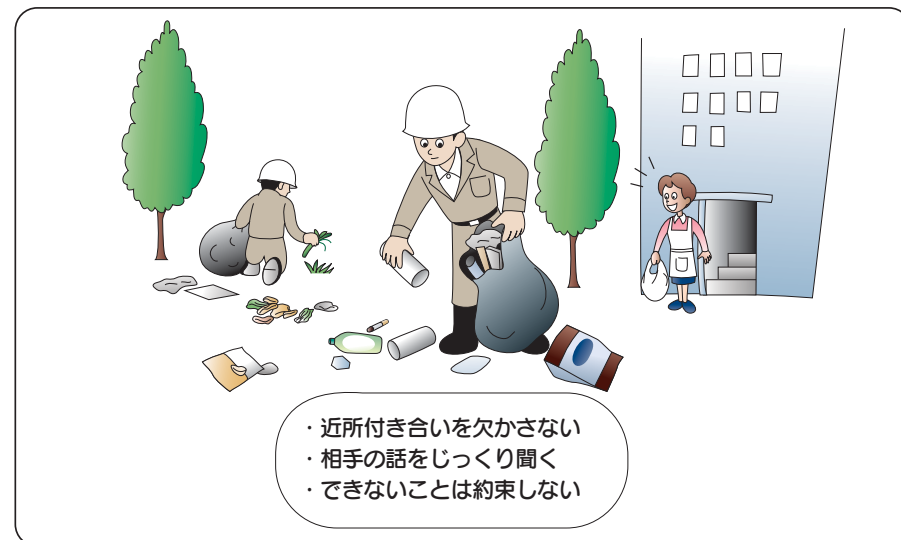
★ 破碎作業場所を別の場所に移動する



★ 近隣住民への事前説明会を実施する

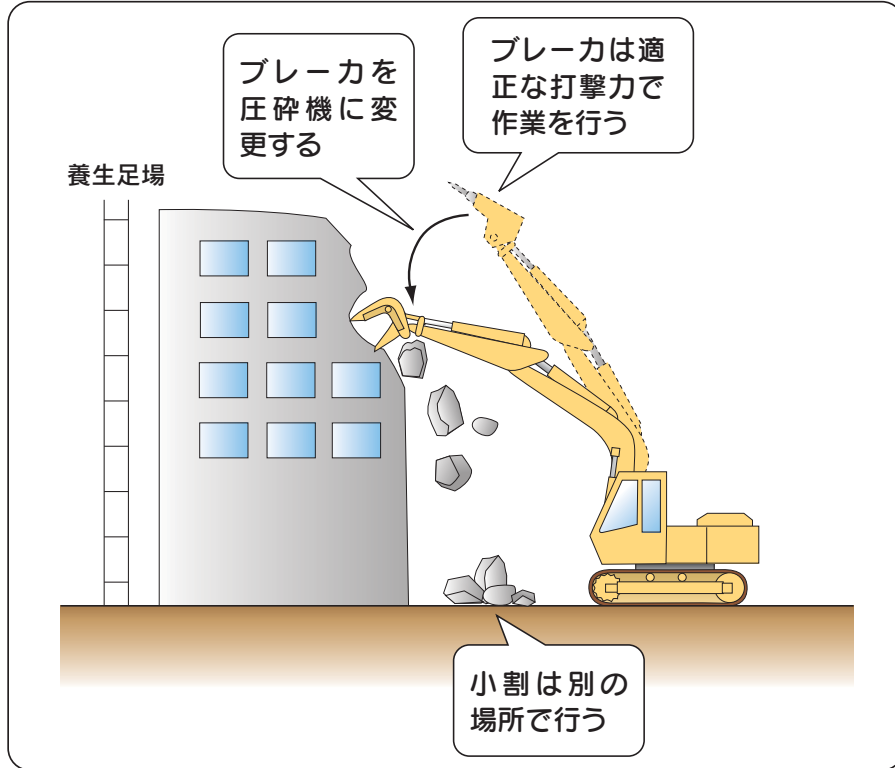


★ 住民対応は誠意をもって行う

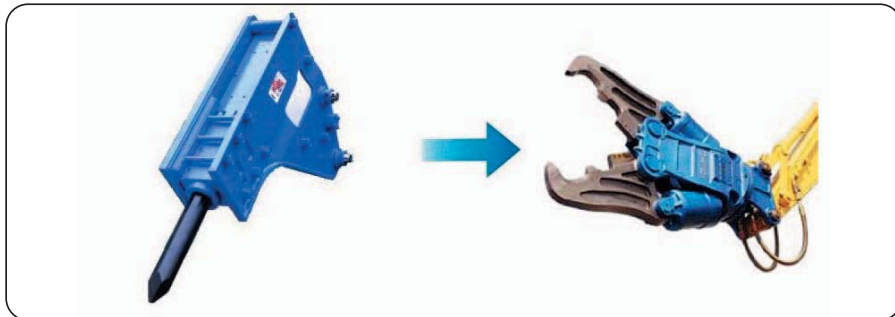


1 解体工

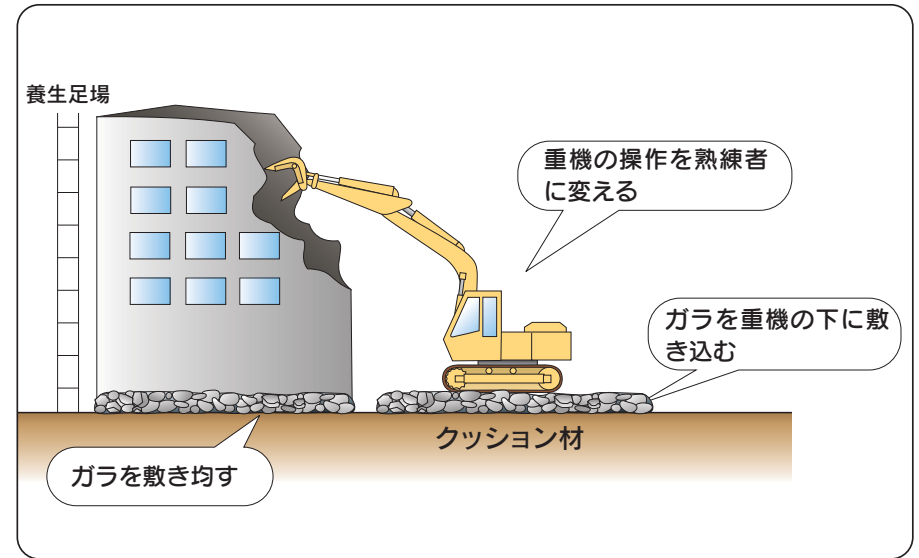
★ 高所からのガラ落としは小さい塊にして下に落とす



★ ブレーカを圧砕機に変更する



★ 解体で発生したガラをクッション材に使う



★ 壁倒しは柱2本を基本とし最小限の大きさで倒す

